



ひろがる
広

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

能登半島地震から2か月が経過し、二次避難所への移動や仮設住宅への入居など、被災地では徐々に生活の立て直しが進んできているようです。しかし、未だ水道が復旧せず、また多くの方が避難所での生活を強いられています。被災された方々が、一日も早く安定した生活に戻ることを願ってやみません。市ではこれからも必要な支援を続けてまいります。

さて、冬の朝霞を代表するイベントとなった「北朝霞どんぶり王選手権」ですが、今年も「あさか産業フェア2024」と同時に2月4日に開催され、約3万人の方で賑わいました。これは、イベントの少ないこの時期に、楽しいひと時をお過ごしいただくため、さらに市内の飲食店のPRを兼ねて、北朝霞商業振興会の皆さんが企画・主催されたもので、このような魅力ある大きなイベン

トに育てていただいたことにとても感謝しています。今年は市内外から23の店舗にご出店いただきましたが、各店舗の前には買い求めようとする人たちの列ができ、特に人気のある店舗は長蛇の列となり、食べるまでにだいぶ時間がかかったようです。会場でおいしそうにどんぶりを食べたり、次はどのお店にしようかと楽しそうに選んでいる姿を見て、コロナ禍前の日常に戻った喜びを実感しました。結果は、グランプリがもつ煮一番（鴻巣市）のもつ煮丼、準グランプリがRED TUG（朝霞市）のはまぐり茶漬丼でしたが、どのどんぶりも甲乙つけがたい素晴らしい出来栄でした。今年は市内の参加が7店舗だっただけに、来年はもう少し増えることを期待しています。

話は変わりますが、3月1日から本籍地でなくても、全国の市区町村窓口で戸籍証明書等を取得できるようになりました。私のように生まれてからずっと本籍地に住んでいるとあまりピンとこない話ですが、居住地と本籍地が異なる方は、本籍地へ赴くか、返信用の封筒を入れ郵送で請求するかとても面倒だっただけに、利便性の向上が期待できます。今後はデジタル化の進展により、さまざまな手続きが便利になるとと思いますが、その分個人情報、より慎重な取り扱いが必要になると考えているところです。

では、また。

スズメバチに巣作りされない対策を！

問／環境推進課 ☎463-1504

ハチは植物の受粉を助け、農作物に付く害虫を捕食してくれる「益虫」の側面があります。

しかし、スズメバチは攻撃性が高く毒性も強いいため、大変危険です。住まいの近くに巣作りをさせないように防除対策し、もし巣が作られてしまったら、小さいうちに対処しましょう。

《スズメバチの巣の防除対策》

家の壁や天井裏などに隙間があれば補修し、茂った木は枝を切り、風通しを良くしておきましょう。また、巣のできやすい場所（以前巣を作られた場所）に、あらかじめ殺虫剤や木酢液を吹きかけておくと、ハチが寄り付きづらくなります。ただし、薬剤を吹きかけても問題のない場所か確かめてから行ってください。雨などで流れてしまうため、こまめな吹き直しが必要です。

《スズメバチの巣を見つけたら》

スズメバチの巣はマール模様（マール模様）が特徴で、作り始めの時期はとっくりを逆さにしたような形をしています。次第に球体となり、最盛期には直径20センチ以上の大きさになるものもあります。スズメバチの巣ができた場合のみ、市が対応します。

スズメバチ以外のハチの巣は、埼玉県ペストコントロール協会（☎048-854-2890）で無料の電話相談や、有料駆除を行っています。

スズメバチの巣

（作り始め）



（最盛期）



ひとの推移

人 □ 144,948人（-16人）

男 73,000人（+3人）

女 71,948人（-19人）

世帯数 70,133世帯（+6世帯）

令和6年2月1日現在（ ）内は前月比